

## 小松鋼機が BizRobo!内製開発で年間 1,000 時間相当の人的リソースを創出、 外販で地域における製造業 DX の旗振り役に ～若手社員開発のロボットが業務標準化や新たなキャリアパスのきっかけに～

オープングループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋 知道）の子会社であるオープン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：石井 岳之、以下「オープン」）は、小松鋼機株式会社（本社：石川県小松市、代表取締役社長：木村 勉、以下「小松鋼機」）が RPA ツール「BizRobo!」の内製開発により年間 1,000 時間相当の人的リソースを創出するとともに、社外への RPA 導入提案により地域全体での製造業 DX を推進していることをお知らせいたします。

### ■BizRobo!導入に至った経緯

小松鋼機は、鋼材の卸・加工や産業用機械・工具・システムの販売を手がける従業員数約 120 名の企業です。社内の機械商社部門にあたる機工事業部は、富山・福井までの北陸 3 県を中心に、およそ 500 社と取引しています。

この取引の中で機工事業部は、自社と取引先双方が直面している「製造業 DX」という課題の解決に向け、RPA に着目して地場システム開発会社が提供する開発受託サービスを 2019 年に採用しました。

手始めに月次の締め処理の一部をロボット化したところ、担当者が毎回 6 日間かかりきりだった確認作業を数時間に短縮する劇的な成果を挙げたことから、RPA による生産性向上を実感し、活用を広げるための社内開発と、そのためのツール選定について検討するようになりました。

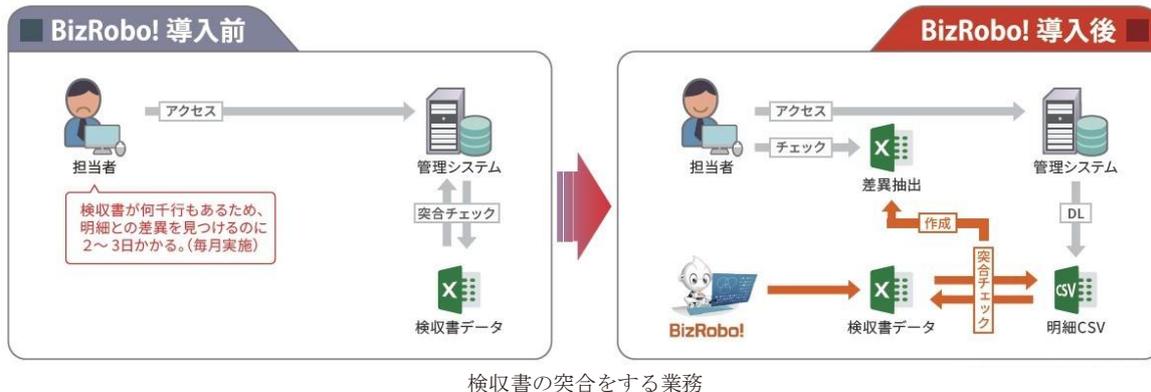
社内開発を念頭に置き、さらに顧客にも提案できる商材としての適性を考慮した結果、小松鋼機は 2020 年にクライアント型 RPA ツール「BizRobo! mini」を導入し、後にサーバ型ライセンスである「BizRobo! Lite」への移行も行っています。これは PC1 台のスタートで使い始めてから、複数端末での利用や全社展開といった利用規模拡大に応じてアップグレードしたのですが、こうしたライセンス変更が円滑に行える点が、BizRobo!を選んだ主要な理由でした。

あわせて、国内シェアが高い RPA 製品を比較した際に、①ライセンス構成、②価格、③日本語対応の内容、④AI-OCR 製品との連携機能などについても検討し、総合的に優位と判断されたことで BizRobo!の導入が決まりました。

### ■180 体のロボットが年間約 1,000 時間の余力を創出、得意先への紹介も推進

小松鋼機では現在、「月間数千明細分の検収書の突合」をはじめとした、機工事業部の約 20 業務でおよそ 180 体のソフトウェアロボットが稼働しています。また BizRobo!の開発・運用業務は、社員育成の一環として若手スタッフが専任で担当しています。そして対象業務の選定においては、実務に通じた

スタッフがヒアリングし候補を提示したり、営業部門の社内業務への展開、さらに RPA の基礎や事例を紹介するセミナーを開催するなどして社内理解を深めることで、ロボット化できる業務の収集が加速しています。



小松鋼機が BizRobo!によって創出した人的リソースは、年間およそ 1,000 時間相当に達しています。RPA 導入を機に、属人化していた作業が分担可能となり、担当者の休暇中も滞りなく処理が進むといった波及効果もあることから、社内ではライセンス費用を大きく上回る効果が得られたと評価されています。

一方、BizRobo!を商材として提案する面でも実績を重ねています。小松鋼機の紹介を受けて 2024 年から RPA 活用に取り組む近隣の金属加工会社、株式会社灰田鉄工（本社：石川県小松市、代表取締役：灰田 英樹、以下「灰田鉄工」）では現在、社員 2 名が BizRobo!による社内開発を担当し、20 名ほどが従事する事務部門の業務効率化を推進しています。機械設備を定期的に更新する生産現場と同様、事務部門でも業務の棚卸しやアップデートを行いたい、担当者のスキルアップのきっかけがほしいと考えていた灰田鉄工の意向に、RPA 導入と社内開発がマッチしたことで活用がスムーズに進んでいます。

なお自社で開発委託型の RPA からスタートして有用性を確かめ、それから社内開発体制の構築に移行した経験から、小松鋼機は灰田鉄工をはじめとする得意先への RPA 導入提案においても、導入時の負担の少ない同様の手法を推奨しています。

小松鋼機／BizRobo!導入事例記事：<https://rpa-technologies.com/case/case100/>

### ■BizRobo!活用範囲の拡大で、ライフイベントと調和する働き方の実現を

小松鋼機の社内における BizRobo!活用は、引き続き営業事務の効率化・標準化を推進しながら、外勤営業の事務負担軽減や電子帳簿保存法への対応、総務関連業務への応用にも注力する計画となっています。そして社内での開発運用体制を通じて、業務が固定化・属人化しやすかった事務職の変化対応力やデジタルスキルの底上げ、さらにデジタルツールの外販営業という新たなキャリアパスの確立も目指したいと考えています。

これまで中小製造業におけるバックオフィスの DX は遅れがちでしたが、ライフイベントと調和する働き方が求められること、人手不足の深刻化などを背景に、今後は関心が急速に増すと小松鋼機は予測しています。そのため導入効果が得やすい RPA から DX に着手することを得意先に推奨し、年 10 件ペースの外販を通じて、地域における更なる普及を図りたいと展望を描いています。

オープンでは、BizRobo!の内製開発により働き方改革や業務プロセスの革新を行いたい企業に対して、開発サポートをはじめとする伴走支援を行っています。加えて RPA の運用・管理において、生成 AI 活用による作業簡略化サービスの提供も開始する予定です。現場負担を最小限に抑えつつ、デジタルレイバーをより手軽に活用できる環境を整備することにより、業界・地域を問わず課題解決や事業発展に寄与してまいります。

## ■「BizRobo!」について

# BizRobo!

「BizRobo!」は、ホワイトカラーの生産性を革新する、ソフトウェアロボットの導入・運用を支援するデジタルレイバープラットフォームです。「ロボット」と「IT」によって、ホワイトカラーをルーティンワークから解放し、企業を始め社会全体の生産性向上を図り、未来の働き方を変えていきます。

詳細につきましては製品ページ：<https://rpa-technologies.com/products/> をご覧ください。

### ー 主要製品ラインナップー

- ・ BizRobo! Basic : <https://rpa-technologies.com/bizrobobasic/>
- ・ BizRobo! Lite : <https://rpa-technologies.com/lite/>
- ・ BizRobo! mini : <https://rpa-technologies.com/bizrobomini/>

## ■「BizRobo! AI Apps<sup>\*</sup>」について

「BizRobo! AI Apps」は生成 AI の活用によって、これまでより簡単に RPA ロボットの運用・管理を行える BizRobo!のオプションサービスです。チャット指示やテンプレートをベースにロボットを生成し、業務フローの可視化や一元管理等の運用支援に必要な機能を搭載。業務自動化を加速します。

詳細につきましてはサービスページ：<https://rpa-technologies.com/ai-apps/> をご覧ください。

※BizRobo! AI Apps のローンは 2025 年夏予定

## 【会社概要】

### ■オープン株式会社 (<https://open.co.jp/>)

- ・ 本社所在地：東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 3 階
- ・ 設 立：2013 年 7 月
- ・ 代 表 者：代表取締役執行役員社長 石井 岳之

- ・資本金：3,000万円
- ・事業内容：スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業、アウトソーシング事業、デジタルマーケティング、オンライン広告事業
- ・金沢オフィス所在地：石川県金沢市彦三町 1-2-1 アソルティ金沢彦三 3F

■小松鋼機株式会社 (<https://komatsukouki.co.jp/>)

- ・本社所在地：石川県小松市光町 20 番地
- ・設立：1963 年（昭和 38 年）3 月 27 日
- ・代表者：代表取締役社長 木村 勉
- ・資本金：6,300 万円
- ・事業内容：普通鋼・特殊鋼全般、またそれらの加工品の販売  
機械工具類・FA システム等の販売  
鋼材切欠加工事業